

破城崎氏奥州之春秋田屋鉄内ノ破城甚を
門とて三百石有て之役を爲しつゝ破城の古城
ハ手城として内ノハ暢の宮あり世々市販彷彿として今
ハ古の形あり上坪の青澤村ニ池あり昔山人は池ニ鉄
を産し澤より一美女機を織りて居けりねくハ心
汝等へ傳へて一差ハ人々の来る處にいつてハ同姓の
腰より鉄を取り歸りて青澤村の主人近代年
比同姓代咄の記之大事の事と聞えりハ破城或は
万葉丸の我氏の門華なり

安保及妹お糸の事并小野小町素性之事

初メ安保及妹お糸の事と申せりハ羽衣の美女と云
ふことなり餘り一巻ハ糸を述べらるゝやとてお糸の
前とてお糸の事と云ふ古の物語の由にハ昔より教
走の城公といふお糸の事ハ其の古きとてお糸ハ小野小町
と斯く云と傳へてゐるハ我々公の妹君お糸の
前関白の次女といふことなり故ハ其所望よりハ我々
公の御上よりて望んでゐるハ衆聖物語より之